



# 学校だより

令和2年6月1日

6月号

学校教育目標  
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



## 「学校が始まる！」

校長 住田 昌治

緊急事態宣言が解除され、学校が再開されました。しかし、すぐに全員が登校して通常の授業が行われるわけではありません。休校期間が長かったので、子ども達の生活リズムが崩れていたり、不安が募っていたりするのではないかと思います。特に1年生は、入学式と始業式の日に登校したきり、休校になってしまいましたので小学校の生活を全く経験していません。また、2年生以上も3月から続いた休校が6月まで延長されて、始業式で会っただけでクラスの友達や先生とも関係作りができていません。一日でも早く学校生活や学校での生活リズムに慣れるようにしなければなりません。

そこで、日枝小学校では、まず、子どもたちの「安心安全」や「つながり」を確保することを優先して取り組みます。いつもよりも丁寧に話を聞き、いつもよりも丁寧に様子を見ながら、少しずつ、しかし、着実に教育活動を進めていきたいと思えます。そのうえで、子ども達が、休校期間中、どのような生活をして、どのような学びの現状にあるのかを確かめることからスタートしていきます。

「学習の遅れが心配」と考えられる方も多いと思えますが、再開後しばらくは、学習以前の問題に目を向けなければならないと思えます。一番の問題は、心のケアです。行事や授業などが大幅に変更になったり、目標ややりがいとなること、体験を通して学べることも減少してしまうかもしれません。楽しみなことなどが減り、日常生活には「学校の新しい生活様式」（文部科学省マニュアルや横浜市のガイドライン）として様々な制約が入り込むことになり、今までと同じ教育活動はできなくなります。不安やストレスで不安定になる子どもも少なくないと考えられるので、子どもの心が落ち着くことを一番に心がけたいと思えます。

学校再開が6月になりましたが、子どもたちの意識は4月のままかもしれません。遠回りのようでも、一か月をかけて、再び子どもが学習に前向きに取り組み、徐々に学習習慣を取り戻すようにしていきたいと思えます。学級づくりや学年づくり、先生や友達との関係づくりをしっかりとしながら、学校内外で子どもにとって安心できる関係性を構築し、ゆっくりと日常を取り戻していったほしいと思っています。

これまで家庭学習でご協力いただきましたが、引き続き、子ども達の健全な成長のために、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。重ねて、休校期間中の学習面へのサポートやアンケート回答にご協力いただきありがとうございました。

また、休校期間中に、卒業生の保護者様、同窓会の皆様よりマスクを寄贈していただきました。ありがとうございました。